#### 2009-02-20 1st Key-Value Store Workshop



たけまる

Kai = (Dynamo + memcache API) / Erlang

Takeru INOUE

# 

# Dynamo + memcache API Erlang



## 自己紹介

- 井上 武(たける)
  - http://teahut.sakura.ne.jp/
- ▶ 主な仕事
  - ▶ 分散システムの研究開発
    - マルチキャストとその応用システム
    - ▶ Web アーキテクチャとデータストア
  - オープンソース
    - AtomPub (Perl)
    - ▶ Kai (Erlang)
      - □ Erlang 分散システム勉強会を開催(次回は5~6月頃?)

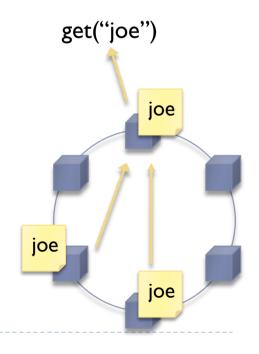
# 

# Dynamo + memcache API Erlang

# Dynamo の特徴(1/2)

- ▶ Key, valueデータストア
  - ▶ 分散ハッシュテーブルっぽい
- 高い分散透過性
  - ▶ Peer-to-peer アーキテクチャ
  - ▶ クラスタ管理コストの抑制
  - ▶耐障害性
    - たとえデータセンター障害であっても
    - ▶ 障害時にも待ち時間要求を満たす





# Dynamo の特徴 (2/2)

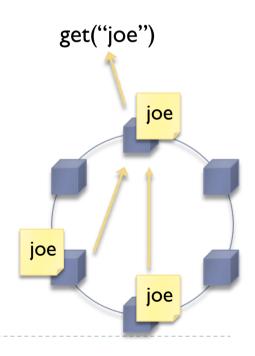
- Service Level Agreements
  - ▶ 99.9%のクエリに対して300ms以内
  - ▶ 平均では、読み取りに15ms, 書き込みに30ms



- ロックなし、いつでも書き込める
- 結果整合性 (Eventually Consistent)
- ▶ 複製はゆるく同期
- ▶ 不整合はあとで解消

可用性と一貫性のトレードオフ

- RDBMSは一貫性を優先
- Dynamoは可用性を重視

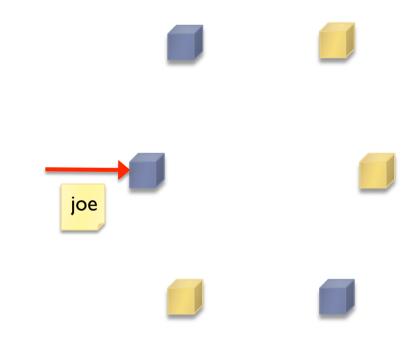


amazon.com

#### 厳密に正確ではないが、Dynamo の特徴を理解しやすく説明

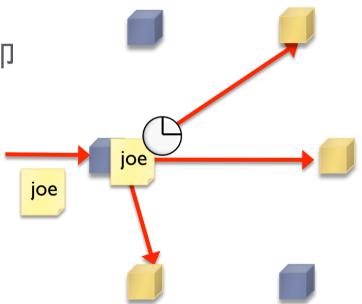
# Eventually Consistent – 書き込みの振る舞い

- ▶ 3レプリカを並行して書き込み
  - ▶ Consistent Hashing で選択



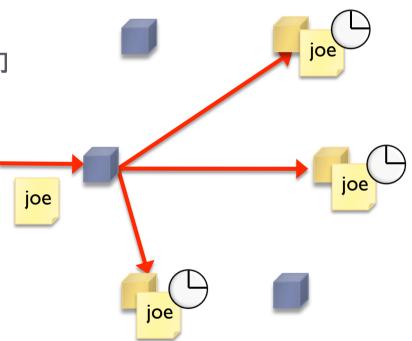
# Eventually Consistent – 書き込みの振る舞い

- ▶ 3レプリカを並行して書き込み
  - ▶ Consistent Hashing で選択
- 分散ロック・コミットなし
  - ベクトルタイムスタンプを刻印
  - ▶ 不整合は読み取り時に解消
- ト高い可用性!



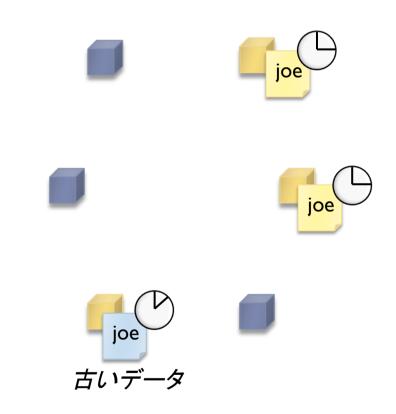
# Eventually Consistent – 書き込みの振る舞い

- ▶ 3レプリカを並行して書き込み
  - ▶ Consistent Hashing で選択
- ▶ 分散ロック・コミットなし
  - ベクトルタイムスタンプを刻印
  - ▶ 不整合は読み取り時に解消
- ト高い可用性!



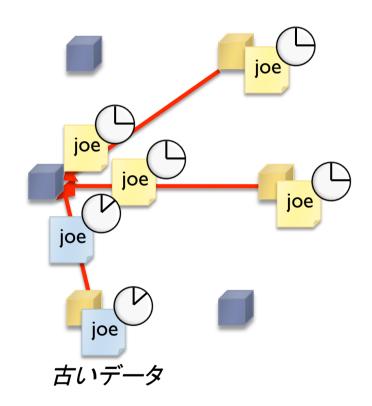
# Eventually Consistent – 読み取りの振る舞い

- ▶ 3レプリカから並行して読み取り
  - ▶ Consistent Hashing で選択



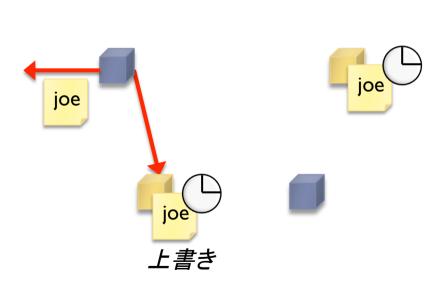
# Eventually Consistent – 読み取りの振る舞い

- ▶ 3レプリカから並行して読み取り
  - ▶ Consistent Hashing で選択
- ▶ バージョン不整合を解消
  - ベクトルタイムスタンプを比較



# Eventually Consistent – 読み取りの振る舞い

- ▶ 3レプリカから並行して読み取り
  - ▶ Consistent Hashing で選択
- ▶ バージョン不整合を解消
  - ベクトルタイムスタンプを比較
  - ▶ 古いデータを上書き
- ▶ 結果的に整合性がとれた
  - Eventually Consistent!



## 分散透過性とは?

- ▶ 分散透過性とは?
  - ▶ 分散していることの隠蔽度
    - ▶ Peer-to-peer アーキテクチャは透過性が高い(ことが多い)
  - ▶ 透過性が高いと管理コストは低下
    - 自律的なクラスタシステム
    - クライアント(アプリケーションサーバ)の簡易化
  - ▶ 性能とのトレードオフに注意
    - 自律制御のためのオーバヘッドあり
    - ▶ 日本のWebサイトは透過性より性能を優先する傾向あり?

## 分散透過性の種類

#### ▶場所

- ▶ × クライアントがデータとノードの対応関係を保持
  - パーティショニング情報を管理
- ▶ システムが個々のデータの位置を隠蔽
  - どのノードにアクセスしてもよい

#### ▶ 移動

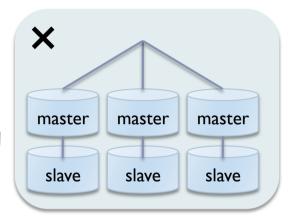
- ▶ × ノード追加・離脱時にクライアントがデータを移動
  - ▶ 責任クライアントの選択と信頼性に課題
- ▶ システムが適切に移動

#### 障害

- ▶ × クライアントが障害を検知して回避
- ▶ × 性能の急激な低下(Master-Slave だと半減)
- ▶ システムが障害装置を除去,軽微な性能低下

#### ▶ 管理コストの低下

▶ Peer-to-peer アーキテクチャ





# Dynamo まとめ

- ▶ 分散 key-value store
  - ト高い分散透過性
    - ▶ Peer-to-peer アーキテクチャ
    - ▶ クラスタ管理コストの抑制
  - ▶ 高い可用性
    - ロックなし、いつでも書き込める
    - ▶ 結果整合性(Eventually Consistent)

# Dynamo + memcache API

# Erlang

#### memcache API

#### Perl

```
use Cache::Memcached;
# サーバを指定
my $cache = Cache::Memcached->new({
  servers => ['127.0.0.1:11211'],
});
# set: 'key' に 'value' を格納
$cache->set('key', 'value');
  PHP
  <?php
 # サーバを指定
  $cache = new Memcache;
  $cache->connect('127.0.0.1', 112
 # set: 'key' に 'value' を格納
  $cache->set('key', 'value');
 # get: 'key' に対応するデータを取得
  $cache->get('key');
  ?>
```

#### Ruby

```
require 'memcache'

# サーバを指定
cache = MemCache.new '127.0.0.1:11211'

# set: 'key' に 'value' を格納
cache['key'] = 'value'

# get: 'key' に対応するデータを取得
cache['key']
```

```
# サーバを指定
SockIOPool pool = SockIOPool.getInstance();
pool.setServers(new String[]{"127.0.0.1:11211"});
pool.initialize();
MemCachedClien tcache = new MemCachedClient();

# set: 'key' に 'value' を格納
cache.set("key", "value");

# get: 'key' に対応するデータを取得
System.out.println((String) cache.get("key"));
```

#### memcache API

- ▶ クライアント実装がたくさん存在
  - ト 開発の手間を省略
- Not perfect, but enough
  - ▶ じつは Dynamo の機能を完全に実現するには貧弱
    - ▶ Dynamo は独自 API
  - ▶ ほとんどの場合は問題なし

# Dynamo + memcache API

Erlang

# Erlang の使いどころ

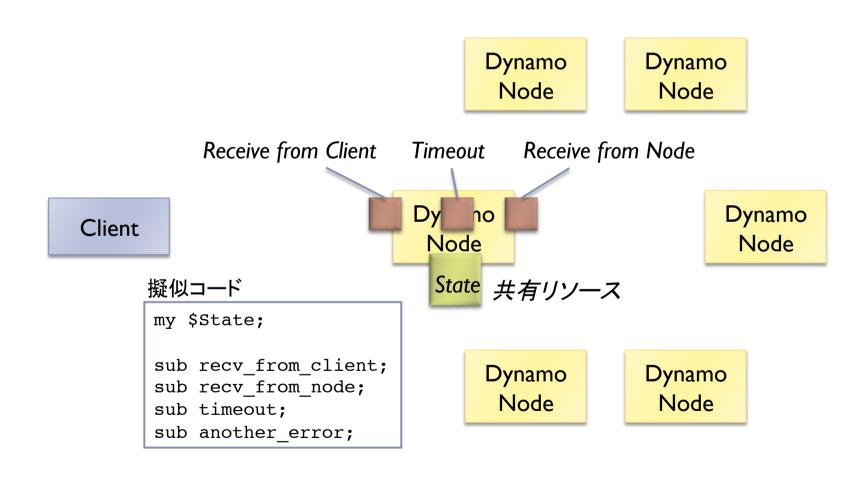
- ▶ Distributed key-value store に適
  - ▶ II のうち 5つが Erlang 製(右表)
    - ▶ Anti-RDBMS:A list of distributed key-value stores より(Last.fm の中の人)
  - ▶ 分散透過性の高いシステムに多い
    - ▶ Kai も紹介されてます ♡
    - どうして日本では使われないのだろう?

Name	Language	Fault-tolerance	Persistence	Client Protocol	Dat
<u>Project</u> Voldemort	Java	partitioned, replicated, read-repair	Pluggable: BerkleyDB, Mysql	Java API	Stru
Ringo	Erlang	partitioned, replicated, immutable	Custom on-disk (append only log)	НТТР	blol
Scalaris	Erlang	partitioned, replicated, paxos	In-memory only	Erlang, Java, HTTP	blo
<u>Kai</u>	Erlang	partitioned, replicated?	On-disk Dets file	Memcached	blol
bymomite	Erlang	partitioned, replicated	Pluggable: couch, dets	Custom ascii, Thrift	blol
MemcacheDB	С	replication	BerkleyDB	Memcached	blol
ThruDB	C++	Replication	Pluggable: BerkleyDB, Custom, Mysql, S3	Thrift	Doc
CouchDB	Erlang	Replication, partitioning?	Custom on-disk	HTTP, json	Dod orie (jso
<u>Cassandra</u>	Java	Replication, partitioning	Custom on-disk	Thrift	Big med Dyr
<u>HBase</u>	Java	Replication, partitioning	Custom on-disk	Custom API, Thrift, Rest	Big
<u>Hypertable</u>	C++	Replication, partitioning	Custom on-disk	Thrift, other	Big

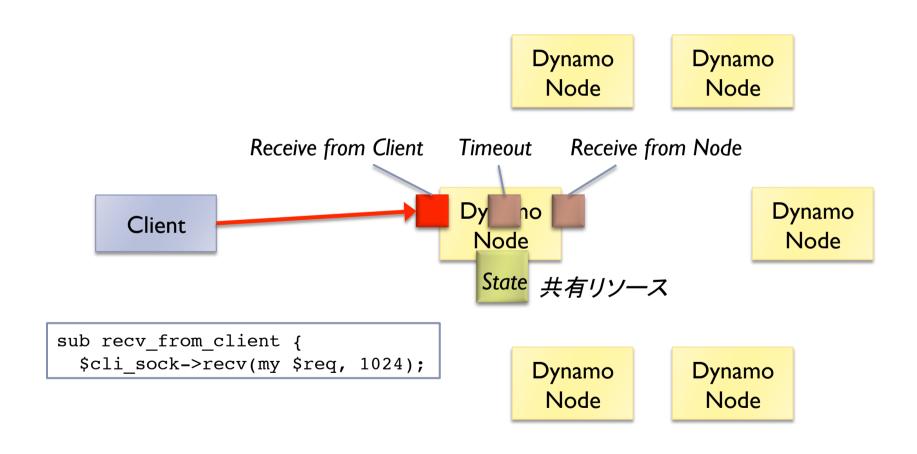
# 分散システム開発におけるErlangの特徴

- ▶ マルチコア・プログラミングの簡易化
- アクターモデル
  - ▶ イベント駆動と比較
  - 例:3レプリカから並行して読み取り、2つを得たらレスポンス
  - 非破壊メモリ(変数への再代入不可)
- ▶ 分散システム開発の簡易化
  - ▶ 組み込みの直列化関数
  - ▶ 組み込みのノード管理システム
- そこそこ速い
  - ▶ Java未満, LL以上
  - 弱点もある(正規表現など)

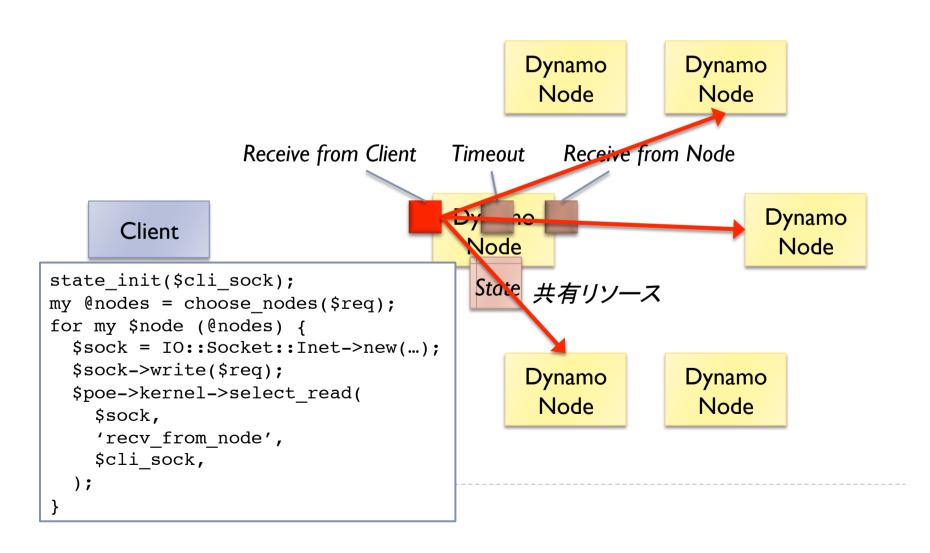
#### ▶ イベント単位に関数を実装



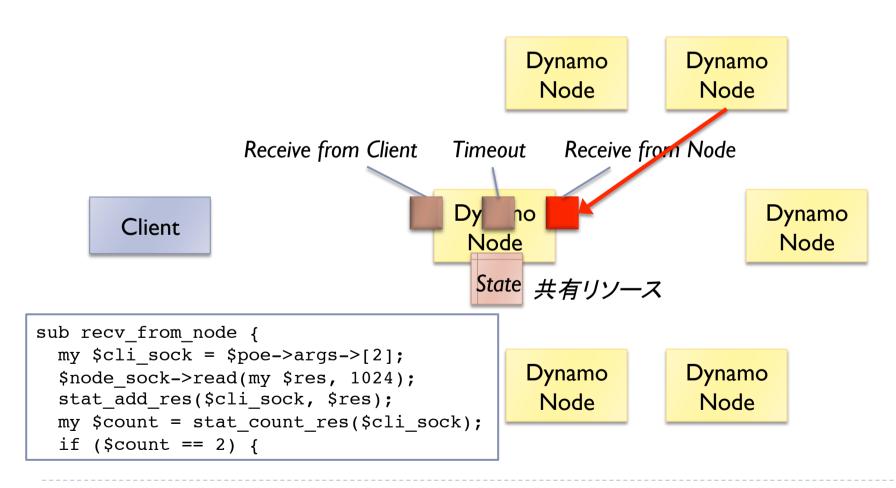
#### クライアントがリクエスト



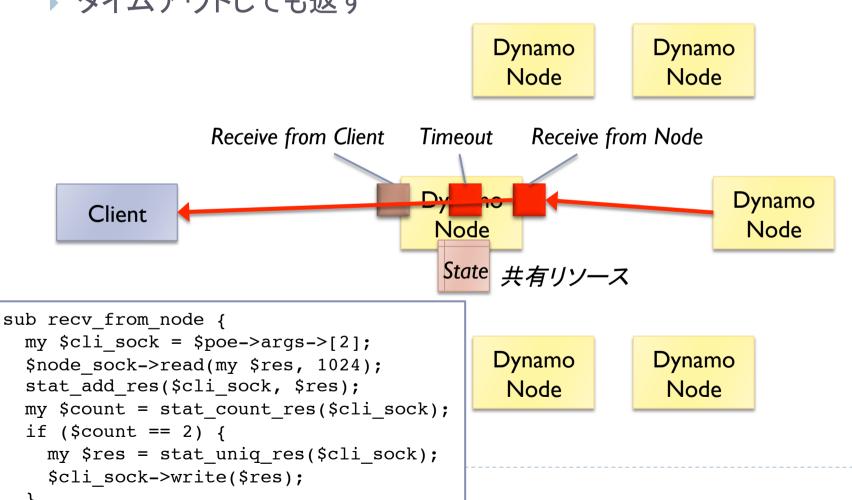
### ▶ レプリカを持っている3ノードに転送



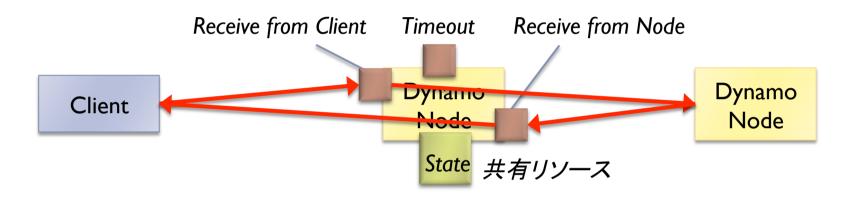
#### ▶ Iつめからレスポンス

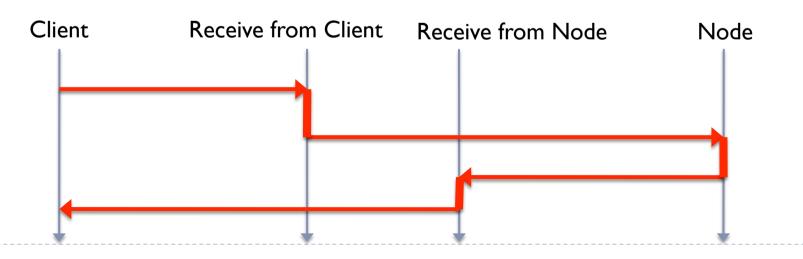


- ▶ 2つめのレスポンスでクライアントに返す
  - タイムアウトしても返す



#### ▶ イベント(時間の進み)単位の実装

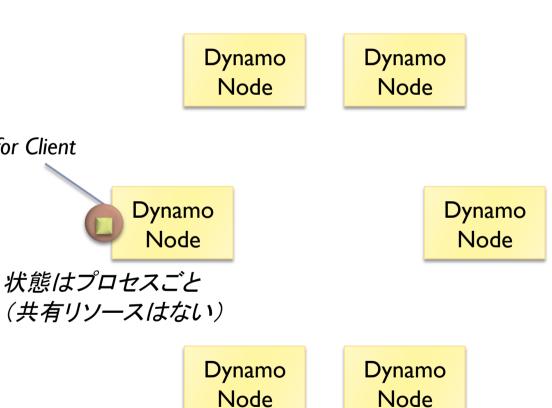




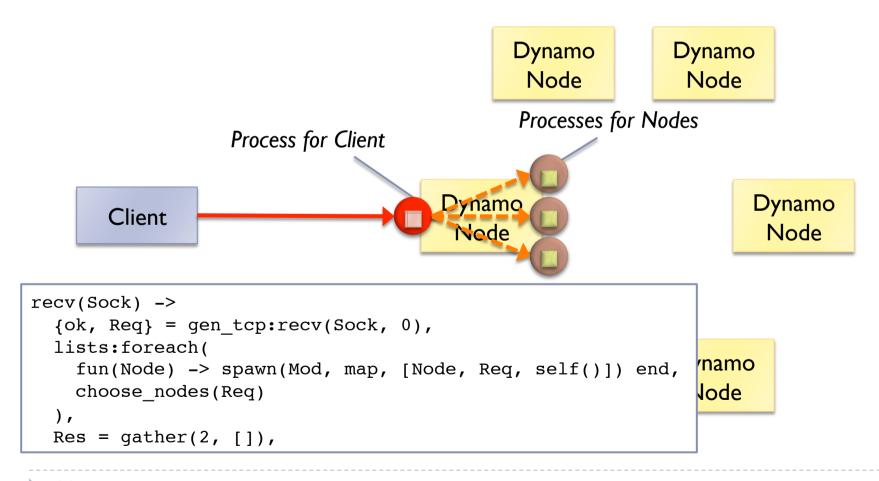
**Process for Client** 

#### ▶ プロセス単位の実装

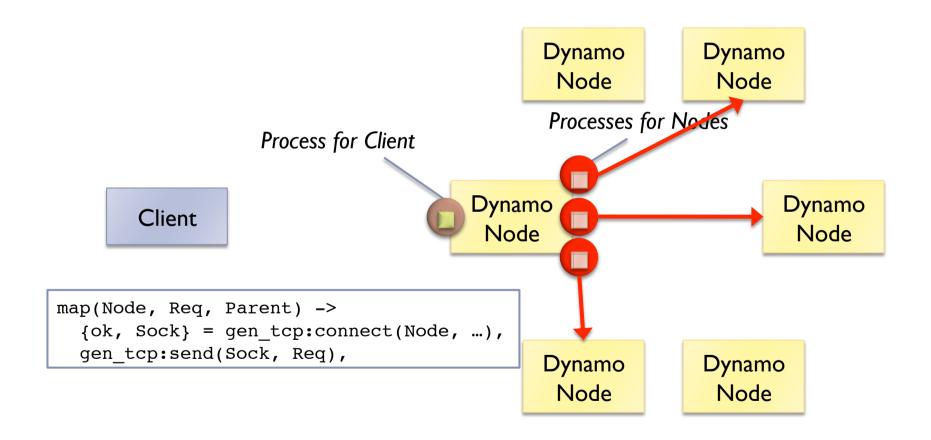
Client



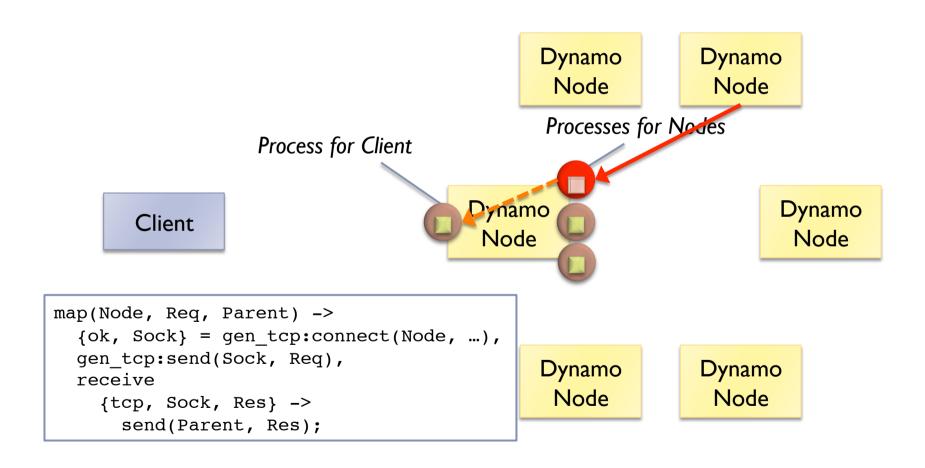
#### クライアントがリクエスト



#### ▶ レプリカを持っている3ノードに転送

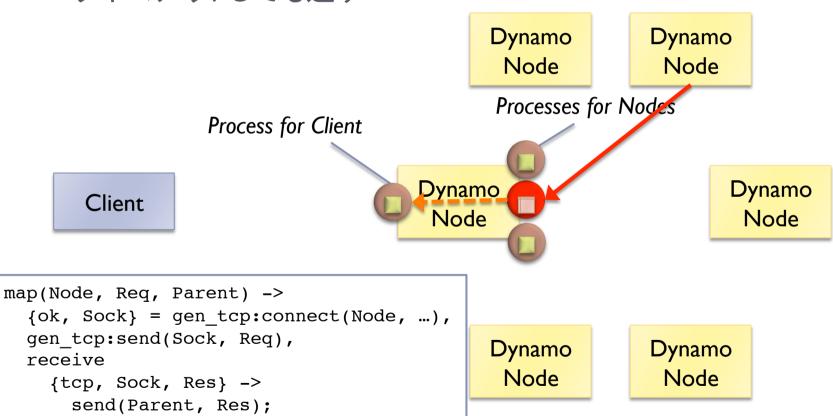


#### ▶ Iつめからレスポンス



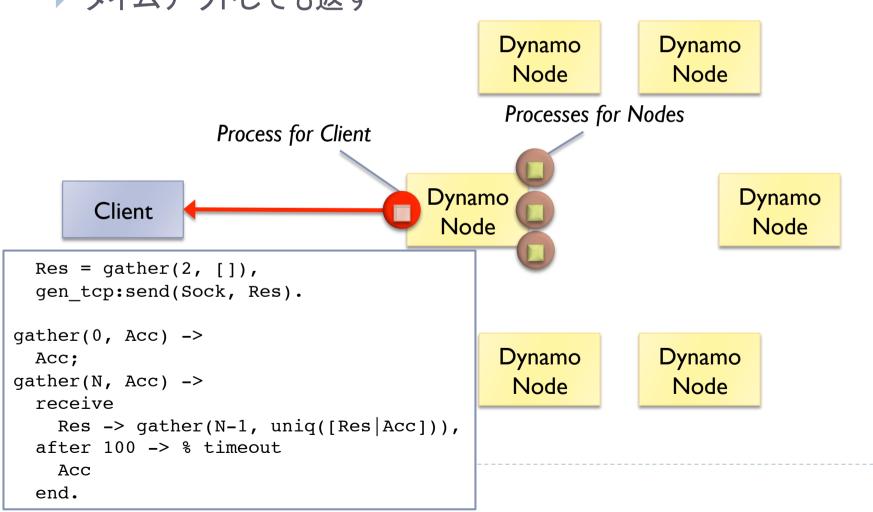
### アクターモデル (Erlang)

- ▶ 2つめのレスポンスでクライアントに返す
  - タイムアウトしても返す



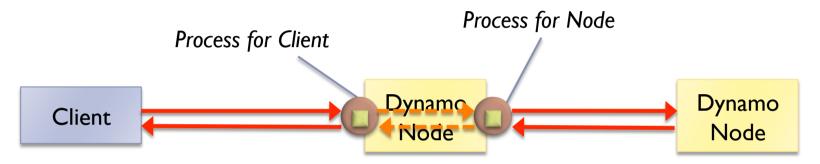
### アクターモデル (Erlang)

- ▶ 2つめのレスポンスでクライアントに返す
  - タイムアウトしても返す

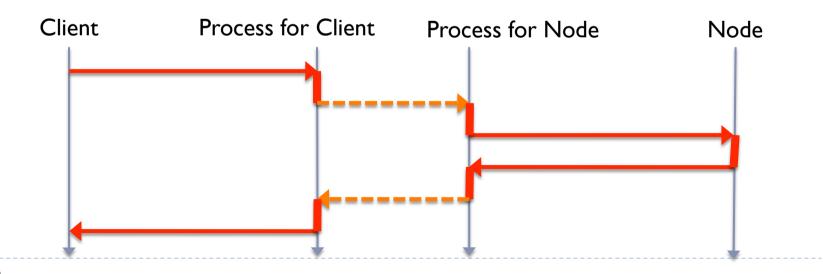


### アクターモデル (Erlang)

### ▶ プロセス単位の実装



状態はプロセスごと(共有リソースはない)



### Erlang まとめ

- ▶ マルチコア・プログラミングの簡易化
  - アクターモデル
    - ▶ 共有メモリがなく安全
    - プロセスが軽い
    - ▶ Copy on write 的にメッセージパッシングを効率化
  - 非破壊メモリ(変数への再代入不可)
- 分散システム開発の簡易化
  - ▶ 組み込みの直列化関数
  - ▶ 組み込みのノード管理システム
- そこそこ速い
  - ▶ Java未満, LL以上
  - 弱点もある(正規表現など)

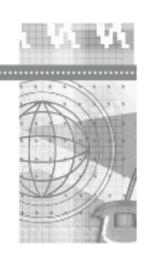
### 宣伝

- ▶ 情報処理学会誌に Erlang 解説記事を寄稿
  - ▶ 2009年3月号

解説

### プログラミング言語 Erlangの動向

井上 武 NTT未来ねっと研究所



#### はじめに

筆者の職場で、さまざまなプログラミング言語による フィボナッチ数列の計算速度を比較したことがあった。 指定された長さの数列が得られるまでの時間を測定した ところ、驚いたことに、C言語を抑えて最速の座を勝ち 速くなる.

筆者が Erlang を使 アにある. 以前は、: ト駆動プログラムを書 アプローチでは1つい、マルチスレッドを 後述するように共有:

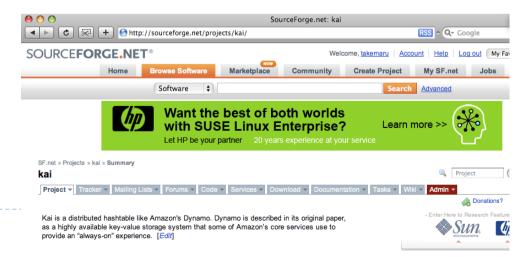
# 

### Dynamo + memcache API

Erlang

### Kai の概要

- ▶ Dynamoのオープンソース実装
  - ト 開発者の本籍地から命名
    - 検索しにくい...
      - □ kie とかにしておけばよかった orz
      - □ erlang, dynamo, sourceforge などと組み合わせて検索
  - memcache API
  - Erlang
  - ▶ sourceforge.net で開発中
    - http://kai.sf.net/
    - ▶ 開発者 3.5名
    - ▶ 2,260行
    - 基本的な振る舞いは完了



### Kaiの性能

#### ▶条件

- Xeon 2.13 GHz x4
- ▶ I KB/データ
- メモリストレージ(ディスクも選択可)
- ▶ ノード (like a memcached)
  - ▶ 10,193 qps (readのみ,複製なし)
- ▶ 5ノード
  - ▶ 14,212 qps (read:write = 80:20, 複製あり)
    - ▶ 少し前に測った値なので、いまはもう少し低いかも

## 

## Dynamo + memcache API Erlang

